

5 参加申し込みについて

参加資料代 1,500 円（討議資料代・記録集代）
各市町村、学校、企業、関係機関等でまとめていただき、下欄の申込書にご記入の上、7月19日(金) までに参加券を購入してください。当日受付も可能ですが、事前申し込みにご協力ください。
申込先：第49回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会実行委員会事務局（鳥取県人権教育推進協議会事務局）
〒680-0846 鳥取市扇町 21 県立生涯学習センター内 tel 0857-22-0578 fax 0857-22-0593
代金は、振込（手数料は自己負担）、現金書留（切手貼付の返信用封筒同封のこと）、または直接持参でお願いします。

6 弁当について

弁当代 800 円（お茶付き）（予約のみで、当日販売はありません。）
市町村等で弁当のご要望がある場合は、下記までご連絡ください。（7月19日(金) まで）
〈問い合わせ先〉 鳥取県人権教育推進協議会（0857-22-0578）
倉吉市人権政策課（0858-22-8130）

7 その他

全体会は手話通訳があります。託児はエスパック未来中心（9:00～16:30 まで）で行います。各分散会につきまして、手話・要約筆記等のご要望がある場合には、あらかじめ実行委員会事務局に、電話、FAX、メールでご相談ください。
（7月19日(金) まで）
tel 0857-22-0578 fax 0857-22-0593 メール kenjinkyou-1@road.ocn.ne.jp

＜ 後 援 ＞
鳥取県 鳥取県教育委員会 倉吉市 倉吉市教育委員会 湯梨浜町 湯梨浜町教育委員会 三朝町 三朝町教育委員会 北栄町 北栄町教育委員会 琴浦町 琴浦町教育委員会 鳥取県議会 鳥取県市長会 鳥取県町村会 鳥取県市議会議長会 鳥取県町村議会議長会 鳥取県市町村教育委員会研究協議会 公益社団法人鳥取県人権文化センター 鳥取県同和对策協議会 部落解放同盟鳥取県連合会 部落解放・人権政策確立要求鳥取県実行委員会 鳥取県子ども家庭育み協会 鳥取県国公立幼稚園・こども園長会 鳥取県私立幼稚園・認定こども園協会 鳥取県人権保育連絡会 鳥取県小学校長会 鳥取県中学校長会 鳥取県高等学校長協会 鳥取県私立中学高等学校長会 鳥取県特別支援学校長会 鳥取県PTA協議会 鳥取県高等学校PTA連合会 国立大学法人鳥取大学 公立大学法人公立鳥取環境大学 鳥取看護大学・鳥取短期大学 鳥取県公民館連合会 鳥取県隣保館連絡協議会 鳥取県児童館連絡協議会 鳥取県連合青年団 鳥取県連合婦人会 社会福祉法人鳥取県社会福祉協議会 社会福祉法人鳥取県身体障害者福祉協会 一般社団法人鳥取県手をつなぐ育成会 鳥取県精神障害者家族会連合会 日本労働組合総連合会鳥取県連合会 鳥取県教職員組合 鳥取県高等学校教職員組合 鳥取県職員連合労働組合 自治労鳥取県本部 部落解放鳥取県共闘会議 一般社団法人鳥取県経営者協会 鳥取県商工会議所連合会 鳥取県商工会連合会 鳥取県中小企業団体中央会 一般社団法人鳥取県青年会議所 鳥取県農業協同組合中央会 一般社団法人鳥取県建設業協会 一般社団法人鳥取県東部建設業協会 鳥取市人権啓発企業連絡会 倉吉市人権啓発企業連絡会 米子市人権問題企業連絡会 鳥取県在日外国人教育研究会連絡会 (株)新日本海新聞社 山陰中央新報鳥取総局 朝日新聞鳥取総局 産経新聞大阪本社 毎日新聞鳥取支局 読売新聞鳥取支局 中国新聞鳥取支局 NHK鳥取放送局 日本海テレビ TSKさんいん中央テレビ BSS山陰放送 株式会社エフエム山陰 テレビ朝日鳥取支局 時事通信社鳥取支局 日本海ケーブルネットワーク株式会社 株式会社中海テレビ放送 (順不同)

第49回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会
参加券申込書

市町村及び団体名	TEL FAX		申込数	参加券枚	
住所（所在地）	〒			枚	
申し込み責任者			金	1,500円× 枚	
			額	円	
会場別参加予定人数	分散会	会場	参加にあたってご要望がある場合は、事務局へ電話、FAX、メールでお知らせください。 (7月19日まで)		
	企業・社会教育関係団体	ハワイアロハホール 大ホール			
	市町村人推同教・自主活動団体	エスパック未来中心 小ホール			
	就学前・小学校	倉吉体育文化会館 大研修室			
	児童館・義務教育学校	倉吉交流プラザ 視聴覚ホール			
	中学校・高等学校	上灘コミュニティセンター 会議室			
	人権課題（同和問題）	エスパック未来中心 大ホール			
	人権問題学習講座①	伯耆しあわせの郷 大研修室			
人権問題学習講座②	エスパック未来中心 セミナールーム3				

開催要項
第49回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会

主催 鳥取県人権教育推進協議会
第49回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会実行委員会

テーマ「人権尊重社会の実現に向けて、研究と実践を交流しよう」

ご案内

人権が尊重される社会の実現に向けて、日々ご努力いただいている県民の皆様にご心から感謝の意を表します。
1974（昭和 49）年、部落問題の解決を全県民の力で成し遂げようとの願いから出発した本研究集会は、回を重ねる中で部落問題をはじめ様々な人権問題に気づき、それを解決しようとする広がりや深まりを持った集会へと発展してきました。これまでの成果をもとに本年も新たな取り組みをしていかなければなりません。本研究集会の一層の充実と発展をめざし、5年ぶりに午前に全体会、午後に分科会という日程で「第 49 回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会」を開催いたします。
社会に存在する具体的な人権問題について県内各地域における実践を持ち寄って交流しましょう。そして自らの問題として話し合いを深め、互いの実践の成果に学び合う研究集会にしていきたいと思います。
私たち県民の研究集会として、多くの皆様の参加をお願いします。

1 目的

本研究集会は、今日まで積み上げてきた差別の現実から深く学ぶ実践・交流の成果を踏まえ、部落差別をはじめあらゆる差別をなくし、人権尊重社会の実現に向けて、全県民を対象とした集会として開催します。

2 期日・会場・日程

2024 年 8 月 2 日(金) 9:45 ~ 16:00

会 場 エースパック未来中心
倉吉体育文化会館
上灘コミュニティセンター

倉吉交流プラザ
伯耆しあわせの郷
ハワイアロハホール

9:00 9:45 12:10 13:15 14:15 14:30 15:30 16:00

受付	全体会 開会行事・基調提案 Paix ² （ペベ）コンサート	昼食・休憩 移動	分科会・分散会 （報告・討議）	分科会・分散会 （報告・討議）	総括 閉会
----	---	-------------	--------------------	--------------------	----------

3 参加資料代

1,500 円（討議資料・記録集代） 記録集は年内に送付予定です。

4 入場時の混雑緩和のためのお願い

○事前に必ず、参加票と記録集発送票に名前、所属、住所等を記入しておいてください。受付では、事前に記入した参加票と記録集発送票を受付のボックスに入れてください。
○討議資料は、全体会受付時にお渡しします。午後のみ参加の場合は、各会場でお受け取りください。

第49回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会 各会場の内容

分科会	1 人権文化社会の創造		2 就学前・学校教育の創造			3 共生社会の創造	4 学習講座	
討議の視点	○すべての人の人権が尊重される地域づくり、社会づくりをどのように進めていくか。 ○子どもたちの仲間づくりや自主活動をどのように進めていくか。		○子どもに向き合う人権教育・保育をどのように進めていくか。 ○一人ひとりの子どもの進路保障にどのように取り組んでいくか。 ○子どもたちの仲間づくりや自主活動をどのように進めていくか。			○同和問題の解決に向けて、県民（NPO 等市民団体）が関係機関とどのように連携を深めていくか。 ○さまざまな人権課題を明らかにし、その解決と共生社会の実現に向けて、県民（NPO 等市民団体）がどのように取り組んでいくか。	○さまざまな人権問題に対する基本的な認識や考え方を深め、解決に向けた運動や取組にどのように生かしていくか。	
分散会	1	2	1	2	3	1	1	2
	企業・社会教育関係団体	市町村人推同教・自主活動団体	就学前・小学校	児童館・義務教育学校	中学校・高等学校	あらゆる人権問題（同和問題）	人権学習講座	
会 場	ハワイアロハホール 大ホール	エースバック未来中心 小ホール	倉吉体育文化会館 大研修室	倉吉交流プラザ 視聴覚ホール	上灘コミュニティセンター 会議室	エースバック未来中心 大ホール	伯耆しあわせの郷 大研修室	エースバック未来中心 セミナールーム3
	湯梨浜町はわい長瀬 584 0858-35-5678	倉吉市駄経寺町 212-5 0858-23-5390	倉吉市山根 529-2 0858-26-4441	倉吉市駄経寺町 187-1 0858-47-1181	倉吉市上灘町 9-1 0858-22-0640	倉吉市駄経寺町 212-5 0858-23-5390	倉吉市小田 458 0858-26-5581	倉吉市駄経寺町 212-5 0858-23-5390
報告者	報告 1 伊藤 誠	報告 1 佐々木利夫	報告 1 山根 直美・松原 伸	報告 1 安達 友子	報告 1 原田 真紀・小原 弘行	報告 1 澤田 直美・中江 人美	講義・演習（話し合い活動等） 岡 研司	講演・演習 中江 美紀
報告者加盟団体	社会福祉法人敬仁会	倉吉市社地区同和教育推進協議会	南部町立すみれこども園	鳥取市立古海児童館	倉吉市立東中学校	赤碕文化センター・北栄人権文化センター	公益社団法人 鳥取県人権文化センター	公益社団法人 鳥取県人権文化センター
報告題	外国人介護人材が働きやすい職場づくり ～倉吉ダイバシティーを目指して～	社地区町内学習会のコロナ禍に おけるピフォー＆アフターの取組	じぶんがだいすき みんなもだいすき ～自尊感情を育む保育を通して～	ひとりひとりを大切に ～[あそび・であい・いばしょ]が合言葉～	東人権宣言の取り組み ～人権が尊重される学級・学校をつくる～	地域と共に取り組む 隣保館	笑い与人権、それを巡るリテラシー －[笑い] に潜む差別性はどう向き合うか－	『部落差別があり続ける社会』 を変えるために
報告内容	介護人材不足が深刻化するなか、当法人では平成 30 年より外国人介護人材の受け入れを開始しました。当法人が行ってきた取り組みを報告すると共に、法人が目指す多文化共生社会についてお伝えします。	コロナ禍以前、社地区自治公民館 18 地区では、対面の町内学習会を統一テーマで実施し、地区によっては小学 6 年生、中学 2 年生も参加するなど積極的に取り組んできました。そして、コロナ禍に負けず、創意工夫をして取り組んできたことを報告します。	生きる力の基礎となる「自尊感情」を育むための保育について取り組んできました。子ども達が自己肯定感を高め、自信をもって生活できるように、どう取り組んできたのか、子ども達の姿がどのように変容していったのか、そして今後に向けてどのような課題を持っているのかを報告します。	古海児童館では、いつでも楽しい・安心・安全な児童福祉施設として、あそびを通して仲間づくりや思いやりの心を育む子どもたちの支援をしています。児童館の活動から見える子どもたちの姿と職員の関わりについて報告します。	本校の校訓である「躍進東中～自学・自主・共生～」のもと、日々の学校生活から生徒と教職員がともに人権尊重の実現を目指しています。その取り組みの中の一つである「東人権宣言」を柱とした活動内容、成果等を報告します。	隣保館の役割は、誰もとり残さない、しあわせを願った「居場所」「つながり」への地域づくり支援です。人と人の関係があるからこそ、事業の展開が拡がりを見せ、隣保館だけではできない「生きる力」を模索し続けています。	あなたは、日頃、どんなことにおかしさを感じ、笑っていますか。そしてその笑いは、あなたの他に誰が笑い、誰が笑えていないのでしょうか。そこに差別や抑圧、排除の論理は働いていませんか。	私たちが生きているこの社会には、部落差別があり続けています。しかし、部落差別について、「実感が無い」「自分には関係ない」「昔ほどではない」「もうない」等と感じている人が少なくないのが現状です。それはなぜでしょうか。
報告者	報告 2 佃 亜紀・大門 康裕	報告 2 森田 和男	報告 2 吉田 亘	報告 2 景山 敬文・山本 育朗	報告 2 岡垣 祐二	報告 2 上口 俊一	部落解放同盟鳥取県連合会 部落差別の現状から見えること	本講座では、当センターが R 4 年度に作成した人権学習教材「innovation（イノベーション）」を使ってグループワークをしながら、昨今、様々な人権問題を考える上で注目されている「マジョリティ特権」等の概念についてお話します。
報告者加盟団体	河原共助会・河原人権福祉センター（鳥取市）	鳥取市用瀬町地区同和教育推進協議会	倉吉市立関金小学校	江府町立奥大山江府学園	鳥取県立鳥取中央育英高等学校	部落解放同盟鳥取県連合会		
報告題	ふれあい食堂を中心に共生社会をつくる ～河原共助会の居場所づくりの取組～	同和問題を主軸とした小地域懇談会	我がふるさとの課題に立ち向かった子どもたち ～思いをつなぎ、人とつながり、実社会とつながるへ～	キャリア発達を通した人権意識の育成 ～施設分離型義務教育学校の特徴を生かして～	鳥取県中部地区高等学校人権・同和教育研究会の現状と展望	差別事象として、確信犯的なものとともに、部落問題について「知らない」「自分には関係ない」という意識からくる言動で当事者を傷つけ、不安にさせる事例が起こっています。近年の差別事象や被差別体験からその背景を考えたいと思います。	～お願い～ ※全体会の駐車場は、エースバック未来中心駐車場と上灘コミュニティセンター駐車場をご利用ください。 ※分散会場への移動のためのシャトルバス等の運行はありません。 ※分科会の駐車場には限りがありますので、なるべく乗り合わせておいでください。 ※マスクの着脱につきましては、個人の判断を尊重します。ご理解をよろしくお願いします。	
報告内容	ふれあい食堂は河原人権福祉センターと河原共助会が連携し運営する地域食堂です。利用者とボランティアという垣根がなく、地域の人々が互いに支え合う世代を超えた地域共生の拠点です。河原共助会の取組、子どもの居場所「のんびりかふえ」について紹介します。	用瀬町地区は、同和問題を主軸として小地域懇談会を開催し人権教育・啓発を行ってきています。コロナ禍以前には、町内で起きた差別事象を朗読劇にして、学習が可能な集落で開催しました。コロナ禍明けからは、30 集落の意見を尊重し、希望に沿うような対応も視野に入れています。	ふるさとの目の前にある課題に目をそらさず、協働し活動することを通して、人間関係やくらしを豊かにしていこうとする意欲や態度を育てることを目指しています。子どもたちが歩んできた軌跡を紹介します。	社会の中で役割を果たしながら自分らしく生きるためのキャリア発達の過程で、児童生徒達は人権感覚を磨いていきます。施設分離型義務教育学校の特徴を生かしたキャリア教育を通じて人権意識を育む取組を報告します。	生徒たちの声をスタートとして人権にこだわるとはどういうことかを組織的に議論し、さらに差別解消の実現に向けて連帯することを実践しています。中部地区高等学校人権・同和教育研究会の事業内容と課題、また今後の展望を報告します。			
司会者 （2 名）	三好 和宏 琴浦町教育委員会	栗原 靖弘 三朝町教育委員会事務局	石井 美穂 鳥取県人権保育連絡会	古田あゆみ 鳥取県児童館連絡協議会	田村 昭夫 倉吉市成徳地区同和教育研究会	山根 正二 やまびこ人権文化センター	尾崎真理子 公益社団法人 鳥取県人権文化センター	中尾 和則 公益社団法人 鳥取県人権文化センター
	河崎 紀子 倉吉市上井地区同和教育研究会	植田 和夫 鳥取市人権推進課	西尾 孝博 鳥取市人権推進課	清水 伸哉 北栄町立大栄小学校	石橋 昌暁 鳥取県立倉吉総合産業高等学校	澤田 春美 部落解放同盟鳥取県連合会		
研究推進委員 （2 名）	大森 英一 部落解放同盟鳥取県連合会	衣笠 尚貴 鳥取市人権情報センター	河村 邦行 鳥取県教育委員会人権教育課	市谷 誠裕 鳥取県教育委員会人権教育課	田中 暁宏 鳥取県教育委員会人権教育課	前田 英敏 さわか人権文化センター		
	山本 昭 倉吉市人権教育研究会	田村 公顕 鳥取県教育委員会人権教育課	山下 千之 鳥取県人権保育連絡会	長岡美恵子 鳥取県児童館連絡協議会	大湊 義仁 鳥取県高等学校人権教育研究会	下吉 真二 部落解放同盟鳥取県連合会		
運営委員	大江 広元	森 亜紀子	平尾 節世	西村 敦郎	岡島 恒志	寺田 真里		